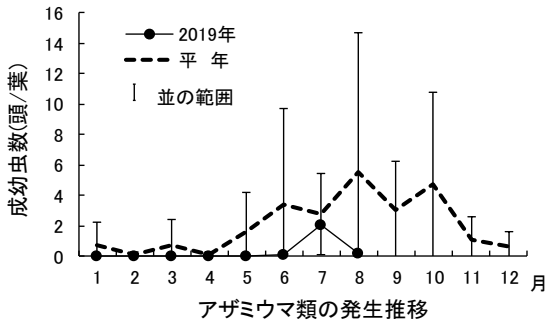
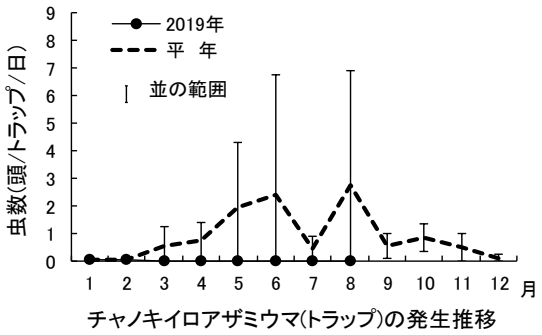
平成　31 年度　　9 月予報

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
予報	9 月の発生量（平年比）	並	
	8 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	8 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	新梢の発生量が増加するため	

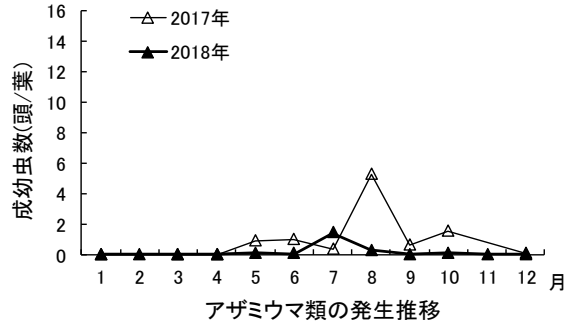
調査結果

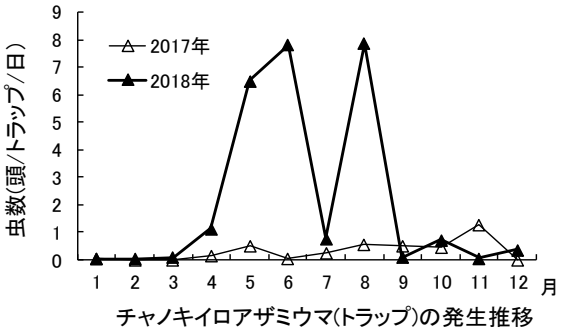
今期と平年の推移





過去2年間の推移





防除のポイント

・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・多発した施設では、収穫後に薬剤による防除を行う。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・不要な新梢は、施設外に除去する。

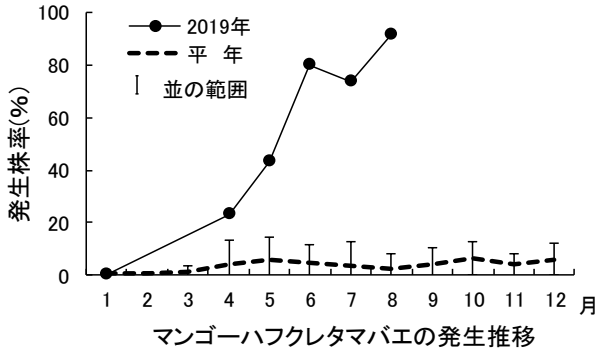
ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　9 月予報

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
予報	9 月の発生量（平年比）	多	
	8 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	8 月の発生量（平年比）	多	
	その他 (気象要因など)	新梢の発生量が増加するため 平年の発生量の推移（↗）	

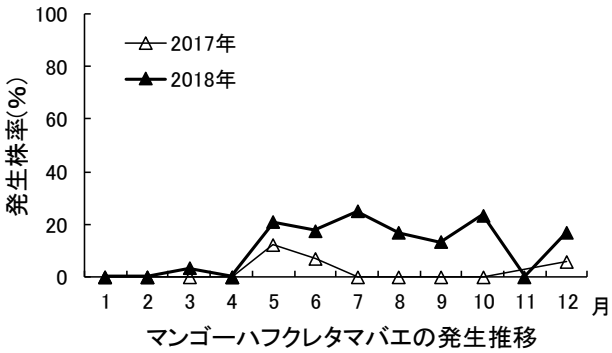
調査結果

今期と平年の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

過去2年間の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

・被害新梢率：55.4%
・発生施設率：100%

防除のポイント

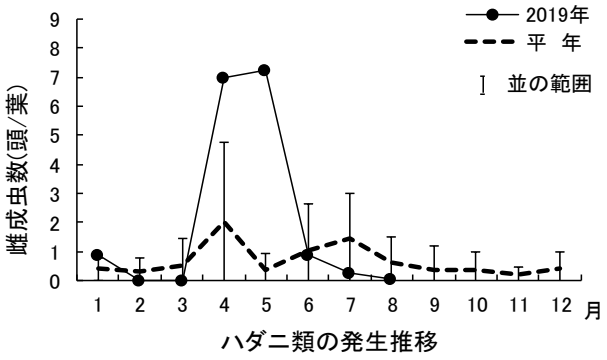
・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
・翌年の着果枝となる新梢が加害されると減収につながるため、多発施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。せん定枝は施設外に処分する。

平成　31 年度　　9 月予報

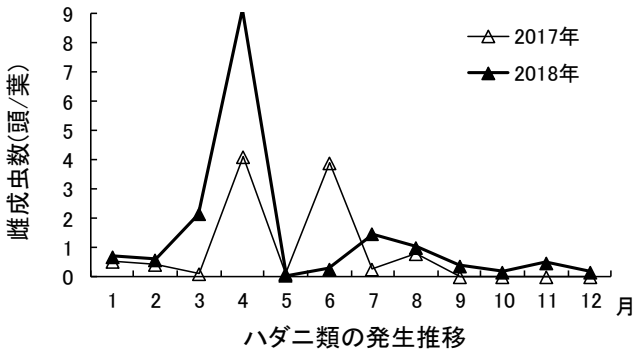
作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類			
予報	9 月の発生量（平年比）	並		
	8 月からの増減傾向	→		
予報の根拠	8 月の発生量（平年比）	並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（→）		

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



・発生種：シュレイツメハダニ

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。